



今年度も「第60回交通安全子供自転車広島県大会」に参加しました！

6月21日(土)に、今年度も本校の5・6年生の代表児童が選手として出場しました。5月の運動会後から大会出場に向け練習を開始しました。子どもたちは、毎日、放課後、一生懸命練習に励みました。誰一人、手を抜くことなく、自転車をこぎ続けました。広警察署管内の小学校の代表として、昨年度より少しでも良い成績をあげようと努力し続けました。下蒲刈駐在所の加計警部補さんと蒲刈駐在所の井上巡查部長さん及び奥様方から指導を受け、技術を向上させていきました。熱心なご指導のもと、子どもたちはめきめきと上達していきました。今年度も、元下蒲刈中学校の体育館をお借りし、屋内で練習をすることができました。天気を気にすることなく毎日練習を積み重ねることができたことは、本当にありがたいことだと思いました。



大会は、広島市西区商工センター内の広島市中小企業会館で行われました。会場はとても広く、実技試験の準備が整えられていました。まず、9時30分から「学科テスト」が30分間行われました。その後、開会式が行われ、いよいよ実技競技(安全走行・技能走行)の開始です。代表選手はグループに分かれ、実技競技にチャレンジしました。たくさんの観衆の中でも誰一人臆することなく持てる力を発揮することができました。最後まで集中して競技に臨む子どもたちの姿を観ていると、心が熱くなったのは私だけではないと思います。

今年度は、入賞は逃しましたが、長年、教員をやっていつも思うことがあります。それは『**子どもたちは行事を通して大きく成長していく**』ということです。だから、私たち教職員は一丸となって行事と向き合い



【実技競技の様子】



【記念写真】

たいのです。

閉会式終了後、みんなで記念写真を撮りました。この大会に関わったみんなのすがすがしい表情を忘れることができません。この経験を通して、子どもたちは大きな自信をつかんだことでしょう。子どもたちの成長に関わっていただきました多くの方々に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。さて、次は何に挑戦しようかな…。

「調理実習」に地域・保護者の方々が来校され、支援していただきました！

6月9日（月）の3・4校時に、5・6年生が「調理実習」を行いました。今回は、担任が「蒲刈小学校コミュニティスクール『家庭科調理実習ボランティア募集』」と題したチラシを作り、協力してくださる方を募集したところ、9名の地域・保護者の方々にご協力いただきました。

今年度から呉市の全小・中学校で「コミュニティスクール制度」が始まりました。この制度は、両蒲刈から運営協議委員を募り、その方々からご意見をいただきながら学校を運営していく制度です。今回の取組もその一環としての取組であり、授業に入っただき、子どもたちのためにご支援をいただいた取組です。

蒲刈小学校では、今年度も、子どもたちに蒲刈町・下蒲刈町の「ヒト」「モノ」「コト」に出会わせることで、自分たちの住んでいる地域の方々との交流を深め、学びを充実させていく取組を進めていきます。地域・保護者の方々から温かいご指導をいただきながら、料理を作り、みんなでおいしくいただくことができました。

校長として、今年度は昨年度以上に地域・保護者の方々に学校運営に参画していただき、充実した学びを展開していくとともに、子どもたちに様々な経験をさせてやりたいと考えています。

今後もさまざまな企画をしてみたいと思いますので、どんどん蒲刈小学校に来校していただき、子どもたちの教育の充実のためにお力を貸していただけましたら幸いです。ご理解とご協力のほど、何卒、お願い申し上げます！



👉次は、同じく家庭科の時間に「エプロン作り」「ナップザック作り」に挑戦します。

後日、「ボランティア募集」のチラシを作成し声をかけさせていただきますので、どうぞ、蒲刈小学校においていただき、子どもたちに裁縫のご支援をいただけましたら、充実した学びの時間にしていけるとお思いますので、よろしくお願い申し上げます。

蒲刈中学校区合同授業研究！

6月20日（金）に、3・4年生が蒲刈中学校区の先陣を切って「授業研究」を公開しました。3年生は算数科「表とグラフ～蒲刈の防災意識を高めよう～」、4年生は算数科「垂直・平行と四角形～なりきり！テセレーションデザイナー～」の単元の授業に挑戦しました。

本校では、昨年度から「**自己調整学習者の育成**」に取り組んでいます。

「自己調整学習者」とは、「**指導者により、自分の学びをコントロールされている状態ではなく、学習者である子ども自身が自分の学びをコントロールしていると感じている児童**」と定義付けました。子どもたち自身が、より一層「**主体的な学び**」を展開していくことで、学力を高めしていくことを目標に、研究を進めているところです。

これまでの学校教育では、「**指導内容**」に主眼が置かれていました。しかし、これからは児童に「**学び方**」を意識させ育てていくことが求められると考えています。指導者の引かれたレールに従って学習を進めるのではなく、子どもたち自らが主体となって「自分たちの学び」を自己調整しながら展開していくことで「真の学力」として定着していくと考えています。

このことを達成していくためには、教職員が一丸となって①「**学習リーダーを育てていくこと**」②「**指導者があれやこれやと手を出し過ぎないこと**」③「**指導者は児童の学びをじっくりと見守り、ここぞという時に介入すること**」が重要になってきます。要するに、指導者が待てるかが鍵となってきます。

昨年度、6年生がチャレンジした「全国学力・学習状況調査」の結果は、国語科及び算数科とも全国平均を10点以上上回りました。今、全国的に「**複式学級の指導方法**」が注目されつつあります。

3枚の写真をご覧ください。授業研究の一場面の様子を写した写真です。全て、「**学習リーダー**」の進行により、自分たちで学びを進めています。多くの小学校では、未だに「**教師主導の学習**」が展開されています。これがいけないというわけではありませんが（当然、必要な場面もあります）、蒲刈小学校の子どもたちは、自分たちで学びを進めていかなければ





ならないので、「お客さん」にはなれないのです。我々教職員はここに重きをおいて、日々、子どもたちと学びを展開しています。

授業研究終了後、呉市教育委員会の指導主事をお招きして協議会を実施しました。終了後、校長室で指導主事が話した言葉がとても印象に残りました。「**蒲刈小学校の子どもたちは素晴らしいですね。自分たちで学習を進めている。私は、正直、驚きました。帰って、教育長に報告します。**」と。

「松濤園」現地学習！

6月11日（水）に、5・6年生が下蒲刈三之瀬にある「松濤園」を見学しました。目的は、「**朝鮮通信使**」について劇化するためです。まずは、現地に赴き、しっかりと朝鮮通信使の歴史等について学ばなければいけないとの思いから、子どもたちは学芸員さんの説明にしっかりと耳を傾け、メモを取りながら、時には疑問に思ったところやよく分からないところ等について質問していきましました。自分たちのふるさとにある生きた教材と向き合い、「**学びをアウトプット**」していく…。ただ、学んだだけではなく、その学びを自分たちでアレンジし表現化していくことで「**真の学び**」に近づいていくものと考えています。そのためにも、様々な仕掛けが必要となります。

「**ワクワクにはまるな！ ワクワクにはまれ！**」ですね。楽しみ、楽しみ…。



絵本の読み聞かせ！

今年度も地域の方々に来校していただき、子どもたちに「**絵本の読み聞かせ**」をしていただいています。子どもたちはさまざまな絵本と出会わせてもらっています。「**子どもの教育に良い**」「**心が豊かになる**」といわれる絵本の読み聞かせ。絵本には、単純な繰り返しのものから、起承転結がはっきりとしたストーリー性のあるものまでさまざまな種類があります。毎回、「**絵本の世界**」に引き込まれていく子どもたちです。

蒲刈小学校の子どもたちは、とてもよく本を読みます。朝8時10分から15分間、どの学年の子どもたちも集中して読書に親しんでいます。私は、いつもその光景を観て、心から感心するとともに感動を覚えてなりません。これも、長年継続している地域の方々の「**読み聞かせ**」の成果だと感じています。心から、「**感謝**」です。ありがとうございます。

